

## 総合計画審議会委員からの意見一覧

## 1 第1回春日井市総合計画審議会における委員からの意見と今後の考え方

	意見・提案の内容	今後の考え方
1	公共施設、ショッピングセンターなど でのご意見BOXによる市民意見の収集 を検討してほしい。	公共施設に設置している「市長へのホット ライン」のあり方も含めて、広報広聴 課と検討中。
2	引きこもりのような弱い子たちの意見 も、計画に反映してほしい。	引きこもり、就労支援を行う団体に対し てグループインタビューの実施を予定。
3	町内会長、民生委員、医者などが参加 している地域ケア会議での意見を吸い 上げることが重要。	地域福祉課と協力し、関係団体へのグル ープインタビューの実施を予定。

## 2 第1回春日井市総合計画審議会後に提出された委員からの意見

## (1) 基本的な考え方に関する意見

	意見の内容
1	地方自治法上、基本構想の策定義務と議会の議決要件が「地方分権改革」で廃止 されたため、市自ら策定する必要性の判断、位置づけ、計画の本質的なものを冒 頭などに示す必要がある。
2	計画の法的根拠を明確にするため、計画を議決案件とする必要がある。
3	総花的で市として多岐に亘る課題、目標の中で、何に力を入れるのかが見えて来 ない。限られた予算、人員の中で課題を達成するには「選択と集中」も必要。
4	春日井市の今後5・10年間に特に行政施策の充実を求めるものを入れてはどうか。
5	項目を網羅的にかき集めてみても軸をはっきり見据えなければ、単なる烏合の状 態になってしまう。コンセプトが最も重要。「春日井市で子育てをしたくなる、子 育て世代が他の市町村から春日井市に移り住みたくなる、町づくりを目指す。」を 提案する。
6	見直しの基本的方向を明確にする。
7	著しく変化する社会に対応できる計画とする方策を考えておく必要がある。
8	今後10年間に行う施策に可能なかぎり優先順位を1～10まで付けて明確にする。 その順位は、予算額、着手時期、重点的に実施する順、当面実施する順、総合的 に考慮した順、などに基づいて付してはどうか。
9	計画は市民、職員にとって分かりやすく、共有しやすいものが望ましい。

10	<p>基本構想と基本計画は、10年計画で市長の任期と合っていない。4年+4年=8年の都市もある。</p> <p>市長の選挙公約、マニフェストが生かせない。このことをどのようにカバーするのか。選挙の結果ごとに総合計画の一部見直し追加、附則として追加する方法などは考えられないか。</p>
11	<p>今の問題、5年後の問題に対処するのではなく、20年30年先を見据えた視点から考える。</p>
12	<p>地方自治法第2条4項の削除は、平23.5「地方分権改革推進委員会」の「地方分権推進に当たっての基本的な考え方・・・地方が主役の国づくり・・・」が発端である。総合計画が市民等から意見を聞くが、基本的には行政の計画であったが、新しい計画は、行政のみならず市内のすべての主体が一定の責任を負う計画であることを条例上明確にする必要がある。</p>
13	<p>見直し（Action）に関しては、財務分析を行える事業・活動は事業推進手法の妥当性を評価して今後の課題を抽出した上で、妥当と判断される施策を改善する。場合によっては計画を見直すものとします。これまでのまちづくりの効果をみとめつつ、これからの人口減少、高齢化などの構造的課題を認識した長期的な施策として柔軟な施策としてほしい。</p>
14	<p>計画の目標を極力分かりやすくし、市民と共有する。</p>
15	<p>総合計画と各分野別の計画との整合性とその関係が分かりやすい表示・図示が必要である。</p>
16	<p>これまでの取り組みや成果について施策毎の目標達成評価をレーダーチャートで分析して、検討視点を「見える化」して市民・事業者理解しやすくしていただくことを提案します。</p> <p>例えば、事業運営においては、検討視点は組織体制「人」、施設整備「モノ」、経営「カネ」とし、教育においては相談窓口システム、教育医療等とする。高齢者支援においてはそのシステムとするなど、検討視点は課題事項を評価指標としてもよいと思います。</p>
17	<p>施策の体系化をもとに市としての目標、例えば誰もが暮らしやすい環境づくりや外部からの人口の誘導など、長期的な目標から具体的な事業計画を提示して、基本計画、実施計画の時間軸を定めた施策を推進することを提案します。</p> <p>これは教育環境、地域自治、災害防止、地域医療活動等事業の中長期的な時間軸も同様に扱い、時間軸に応じた施策を推進するものとして、市民・事業者に方向性や成果の有無が共有できる「見える化」を進めていただくことを提案します。</p>

18	土地利用計画は地区の動向を踏まえ、将来の方向性を示すものと考えます。地区別は中学校区別15地区又は市内を10地区（「まち・ひと・しごと創生総合戦略2016（平成28）年2月」）に区分されています。これらの地区別は選択して、アンケート調査を地区別にレーダーチャートで示して分析していただくことを提案します。地区別に全てバランスのよい地区を目指すものではありませんが、地区において項目の特色を示した上で土地利用計画との関連を明らかにしていただければ判りやすくなると思います。
19	例えばニュータウン地区なら高齢者福祉推進重点地区、勝川地区なら子育て世代支援重点地区など、それぞれのブロックに応じたサブコンセプトを設定すべき。
20	地域の将来像の具体的なイメージを提示できないか。例えば、西部地区、東部地区、高蔵寺ニュータウン地区、JR沿線地区、東部丘陵地区 など
21	これまでは、市民協働を前提（根底）とした総合計画づくりが行われてこなかったのでは？新総合計画では市民協働を具体的にどのように取り入れていくのか。
22	過去10年間を見直して、その要点を例えば、次の項目ごとに箇条書きして、いずれかの文章に入れてはどうか。 ア 過去の10年間で、現状、施策が大きくかわってしまった施策・項目 イ 今後の10年間に特に充実させる施策・項目 ウ 春日井市が特にアピールしたい施策・項目
23	現行の春日井市の計画が、大半の市町村がそうであるように、基本構想＋基本計画＋実施計画の三層構造であるが、このままでよいか。 二層、一層は検討の余地はないか。
24	新計画の中には計画の中に事業・活動の検証作業を毎年行っていく仕組み（PDCAサイクル）を取り入れるべき。今までは、計画を策定することが目的となっていたと思える。
25	行政評価の個別縦割評価でなく総合的な進行管理を行う。

## (2) 策定に向けての考え方・内容に関する意見

	意見の内容
1	住民意見を効果的に反映させるため、次期総合計画で行政側が考える重点課題を先に設定し、それに対して挙げられた住民意見と合うのか、足りない点はどこなのかを検証するなど、意見を活用するための計画が重要だと思います。設定した案を住民に示す・示さないというWSの手法も含め、事前準備を念入りにする必要がありますと感じました。
2	第五次総合計画の成果を整理して、引き継ぐべきものを出し、今後10年後、20年後を見通して取り組むべき課題を提示していくこと。

3	常に施策の根底に世代循環を前提とした発想を取り入れることが重要。
4	熊本・東北大震災による地震・津波・原発汚染・電力不足・震災者の受け入れ、東南海地震対策など全国的に震災対策の見直しが課題であるが、どう取り組むか。どのように計画・施策を見直すか。
5	基本施策は、中長期的な時間軸で解決すべき課題がどのように改善されていくことが望ましいかの視点で構成していく方法もあると思います。確かに、これまで行われてきた施策は、十分に成果があり、目に見えて評価できるもの、具体的には道路の安全、通勤の便、空気のきれいさ、病院の便、町中の緑など数多くあります。これらの成果・効果を現時点で再認識することが必要と思います。「成果指標の効果測定」に関しては、施策に対する施設制度、具体的な体制、活動、協議会、講習会、学習会、事業等を具体的に数値にて明らかにしてほしい。
6	現在は、経済的な満足のみでなく、ブータン王国の幸福度（95～98%の国民が幸福と感じている）の考えをどのように、見直しに取り入れていくか。財産的な幸福度より、精神的な幸福度をどのように取り入れていくのか。
7	スマートシティ春日井市を目指す。
8	総合計画を端的に表現する「将来の都市像」の標語は覚えやすく、発音しやすい言葉にするとよい。 第5次・・・「人と地域が輝き、安全安心で躍動する都市」→ 「安全安心で人と地域が躍動する都市」→ 「安全で躍動する都市」（市長も覚えにくいとのこと）
9	いくつかの主要事項について他都市（人口など考慮して5～10程度の市）との比較をどこかに入れる。
10	計画に現在の予算を明示する。将来の見込み、方向性を示す。
11	春日井市が日本、世界で誇れるもの、満足度の高いものは何か。今回の見直しに入れてはどうか。健康、医療、男女共同参画、子育て、都市景観、行財政運営等
12	春日井市の全国、世界へ特にアピールする項目を見直しに入れてはどうか。
13	NPOなど民間活用、参画、協働などの目標値を示す。
14	リニア中央新幹線関係は、どの程度計画に盛り込むのか。資料編に多少の記述が必要ではないか。
15	『具体的な提示』総合計画、基本計画等は、抽象的な文言になりやすいが、具体的な表現に心がけると良いと思う。 (例) 観光地・・・資料編の中でもよいが具体的な施設名を記入してはどうか。計画に対する市民の関心が高まると思う。 施設名・・・今後整備していく予定の施設名を示す。 市の予算額・・・施策ごと又は主な施策について、市の現行予算額、可能な限り5年後の見込み・傾向、10年後の方向、過去の推移など示すよいと思う。

16	他の個別パンフレットには載せてあるが、市内の観光地、主な行政機関、病院等を資料編に載せると、市民に親しみやすいものになる。
17	市民に親しみやすい写真、カットを総合計画、基本計画、実施計画に載せると良いと思う。原文のものに入れるのが難しいようであれば、PR版には是非載せたい。
18	計画が出来がった後にPRとして、カラー刷のタブロイド版のものをつくると、扱いやすくてよいと思う。
19	総合計画の本編の他に、小学5年生以上中学生向、高校大学生向、高齢者向に要約した分かりやすい冊子を作製するとよい。この場合、1～48の目標は、この順に並べずに、それぞれ向に高齢者向は、高齢者に一番関係が深い項目から並べるとよい。例えば、福祉、医療、健康、生きがい・・・など
20	住みたい街の定義を項目として捉える必要があり、それに伴う施策が、一つ一つが生きた施策となっているのか（ただやっていますよとなっていないか。）深く検証・検討しなければならない。

### (3) 個別の施策に関すること

	意見の内容
1	『スマートな交通体系の確立』 I Tを活用し「J R＋幹線バス＋デマンドバス、ライドシェア、無人運転タクシー」を効果的に組み合わせ、効率的な交通システムを造る（現在、車がなければ自宅から市役所まで1時間以上かかる）。
2	『エコで省エネのスマートな暮らしの推進』①ごみを減らす（特に生ごみはたい肥にするとか、バイオ発電などに使えないか） ②化石燃料の消費を減らす（ハイブリット、電気、水素エネルギー等） ③地産地消 ④太陽光発電。
3	『健康寿命日本一へ』 1 中学校区に1名の保健専門職を配置して町内会、地区社協などと一体となって活動する。
4	『スマートな教育で落ちこぼれ学童ゼロへ』市と住民一体となって取り組む（狙いは教育先進市の評判をとり、若い子育て世代の住民の増加を狙う）
5	『I Tを活用しスマートな「見守り」の仕組みを築く』
6	『FM局の開設』※一番の狙いは災害への対応、他に広報、市内のお店の宣伝等。（中部大が立派な設備を備えており、スタッフもいるので、提携すれば比較的簡単に開設できるはず）
7	平成23年に庄内川の集中豪雨（庄内川の決壊、高蔵寺駅及び周辺地区の浸水等）があったが、これに対して、どのような対策が取られ、その効果はどうであったかの記述を入れてはどうか。
8	子供と高齢者にかかわる問題が、より深刻になっているように思うが、具体的に施策をどのように見直していくのか。

9	春日井市は交通の利便性、生活環境、自然環境等を含めた住環境は相当に高い。子育てをする若い世代の好感度を高めることが重要。「子育てにやさしい春日井市」を目指すには、更に踏み込んだ子育て支援政策が重要。予算の問題もあるが、最終的には教育費完全無償化を目指す取組みは必要。
10	「魅力ある生活環境の創造」に関連して、ゴミのないきれいな生活環境、居心地の良い住環境整備も重要で、クリーン作戦も定期的実施されているが、「クリーンシティー春日井」を更に高めるには市民の協力が必須であり、例えば毎月「0の日」を「道路清掃の日」に定めて市民に道路清掃協力をお願いするようにはどうか。意識を市民に広げることが必要。
11	「春日井アプリ」など、日々更新して春日井の暮らしやすさの情報を大いに発信する道具をつくるべき。
12	石尾台、押沢台等、今となっては住みにくい住宅地域となってしまった所から市内移住を推し進めることが今後の選択となる。高蔵寺駅周辺と一体化した開発計画を策定するなど、機能集約の方向性が必要。
13	地域ブランドについて再考が必要。
14	子育て支援が不十分。保育時間帯が、希望時間帯・必要な時間帯とマッチングしていない。
15	12時過ぎると駅から自宅までの足がない。駅前に深夜駐車場が欲しい。
16	新しい住民が町内会に加入しにくい状況がある。せっかく加入したいのに旧の住民の慣習（悪習）妨げとなり加入しにくい。

#### (4) 審議会に関すること

	意見の内容
1	前回の会議でも意見があがっていたが、例えば、小学校への訪問やアンケート調査なども実施によって得られる効果が曖昧だと納得しかねるといった状態が起きやすいため、実施していることの意図も明確に示してほしい。
2	審議会では、進行の段階（全体像の中で現在どの段階なのか）を明確にし、今回はどのポイントを重点的に討議するのか、という点を示してほしい。
3	現在の総合計画について理解を深めるため、各目標の基本施策についての勉強会を計画してほしい。
4	委員の中に大学の先生が数名みえるが、ドイツ、アメリカ、北欧諸国、など先進的な国の総合計画はどのようになっているか、教えてほしい。
5	事務局案・資料が当日配布されるのは大変おかしい。各委員に対して失礼である。事前に資料等を送付していただき当日は十分資料を検討したうえで臨みたい。

(5) その他

	意見の内容
1	市民参加の質を担保する。
2	今後、第6次春日井市総合計画を市民、企業等へどのように浸透させるか。その具体的な流れと手続をネット社会も念頭の上で十分に検討しておくこと。
3	将来の目標を実現するには、市の機関、行政、市民の努力のみで実現することが難しい事項もある。国の機関、県の機関、JR、名鉄など民間組織への働きかけは市長の権限か。審議会の権限外の事項か。答申の付帯事項とする事項か。
4	隣接都市(小牧市、多治見市、名古屋市北区・守山区、瀬戸市など)の総合計画との整合性を図る。日々生活している人々が隣接市、隣接市の隣接している地域(地域が市の境界で分断されている等)などを計画にどのように取り入れるか。計画はあくまで春日井市域にかぎるのか。
5	他都市と比較して、春日井市の遅れている事項を充実させる方向のことを入れている、どうか。また、進んでいることは、さらに充実させていく。
6	春日井市から他市へ通勤、通学する人数、他市からの人数に基づいて、その人達に対する施策を示す。
7	中学校区別人口の変動、推移(年齢層別、年齢構成の変化)とそれに対する施策の目標を立て実行する。
8	春日井市財政、市人口の変動を見直しにどのように取り込むか。国の経済、財政の大きな変化を見直しにどのように取り込むか。
9	春日井市の地区ごとの発展、競争、市全体の向上をどのように調整、発展させるか。JR中央線沿線、名鉄沿線、高蔵寺ニュータウン、その他地区等
10	市民協働活動に参加しているが、市は、活動団体から要望をどのように聞き取り・吸い上げてくれるのかを注視している。
11	計画策定から見直しまでの職員参加を要所で行うとともに、参加意欲を高める。
12	春日井市が地域の困りごとをきいてくれないという声があるが、市役所は住民の言葉に傾聴し、住民が要望をどのようにまとめ、市に伝えるのかという技術を指導する役割が求められている。市からは言いにくいことを他の住民市民から言わせることも大事。しくみが必要。(WSの感想)
13	パブリックコメントのあり方が春日井市は相当遅れている。情報を全てオープンにして、市民の声の出所を具体的に明示し、それに伴う対応活動事業の検証をしていく仕組みが必要。